

科学技術人材育成費補助金 Q & A

「テニュアトラック普及・定着事業」

二次公募について

平成 23 年 9 月 5 日

文部科学省

科学技術・学術政策局

基盤政策課

【テニユアトラック普及・定着事業】

< 2次公募に関するもの >

Q 2次公募で選定された機関のテニユアトラック教員は、平成23年度の個人選抜型への推薦対象となるのか。

A テニユアトラック教員の採用年度により、以下のとおりとなります。

- ①平成22年度に既に採用されているテニユアトラック教員については、平成23年度に公募する個人選抜型への推薦が可能です。平成24年度に公募する予定の個人選抜型への推薦はできません。
- ②平成23年度に既に採用されている又は今後採用予定のテニユアトラック教員については、平成23年度の個人選抜型の公募の時点で、テニユアトラック教員が特定されており、平成23年度内に研究開始が可能な場合に、推薦することが可能です。テニユアトラック教員が特定されていない場合や、平成23年度の公募に推薦できなかった場合には、平成24年度に公募する予定の個人選抜型へ推薦することを可能とします。

※ なお、平成23年度の個人選抜型の公募開始は、9月上旬を予定しています。
締切日については、機関選抜型の選定機関に対して別途ご連絡いたします。

Q 本事業の申請にあたって、注意すべき点はどのような点ですか。

A 公募要領や審査要領に記載されているテニユアトラック制を実施するための要件や審査基準をご参照いただいた上で、以下の点については特に注意して下さい。

- ① 国際公募を実施していること（国際公募の実施に当たっては、公正で透明性の高い公募方法となっていること）
- ② 公募審査、中間評価、テニユア審査において、公正で透明性の高い選考方法を採用していること（具体的には、複数の機関外委員の審査への参画、ピアレビューの実施、指導教員除外等）
- ③ 任期終了後のテニユアポストが用意されていること
- ④ 機関として、テニユアトラック教員を研究主宰者（P I）として自立した研究活動ができるよう育成すること。

具体的には、

- ・ P Iとしての十分な育成期間（一定の任期：5年程度）が確保されていること
※例えば、採用当初から、一律2～3年間の任期としている場合は、P Iとしての育成期間が担保されていると言うことは難しいと考えます。但し、優秀なテニユアトラック教員については、取組実施3年度目の中間評価の結果を以てテニユアポストに移行することは可能です。
- ・ P Iとしてふさわしい自立した十分な研究スペースの確保
- ・ 適切な研究資金の措置
- ・ メンター等による人的支援体制の整備